

スチールユニットシェルフ用・ボックス・引出し・2段

オーク材/ウォールナット材

組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2 ～ 4
パーツリスト	5
各部の名称	5
組立方法	6 ～ 12
ご使用方法	13 ～ 18
お手入れ方法	18
ご使用に際して	19
製品仕様	20
お問い合わせ先	20

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。



警告



禁止

- お子さまに製品に登る、ぶら下がるなどさせないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。
- 製品の上に立ったり、腰かけたり、踏み台代わりに使用したりしないでください。製品の転倒や破損によりケガや破損の原因になることがあります。
- 製品の上部のみに片寄って収納しないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 引出しが複数ある場合、同時に開けないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 引出しを、本などの重量物でいっぱいしないでください。転倒や破損により、ケガのおそれがあります。
- 引出しに手をついて立ち上がるなど、無理な荷重をかけないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- フィッティングパーツは幼児の手の届くところには置かないでください。また、なくさないでください。これらは小さく、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。
- 転倒防止補助金具は、耐震用の固定金具として利用しないでください。地震などによる振動や、製品に寄り掛かるなど、過度の荷重が掛かった場合、金具がはずれて製品が転倒し、ケガをするおそれがあります。



行う

- 建物の壁や床、天井などに固定用金具（専用もしくは市販）や固定部材でしっかりと固定してください。地震などで製品が倒れ、ケガをすることがあります。特に高い位置にボックスを取り付ける場合は、不安定になりやすいため、市販の転倒防止製品と合わせてご使用ください。（目安：高さ100cm以上の場合）
- 強度を保つために必要なパーツは取り付けられた状態で使用してください。強度パーツが不足していると強度が低下し、揺れや破損によりケガをする原因となります。（詳しくは、スチールユニットシェルフ・ボックス・組み合わせ一覧表をご覧ください。）

⚠ 注意	
 禁止	● ユニットシェルフ (※) に付属の組立・取扱説明書をよく読み正しくお使いください。組み立てた製品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただくために重要です。 ● 転倒防止補助金具は、壁の状態をお確かめの上で、壁の素材に適したネジ類を使用してください。適していないものでは強度が得られず、転倒して製品の破損や思わぬケガをする原因となります。 ● 転倒防止補助金具は、取り付け方法をよく読み、正しく取り付けてください。誤って取り付けした状態では強度が弱まり、製品が転倒し、ケガをする原因となります。誤った取り付けによって生じた事故や損害については、責任を負えません。 ● 組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分がはずれてケガの原因になることがあります。 ● 指定の用途以外で使用しないでください。破損してケガをするおそれがあります。 ● 耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
 行う	● 修理や改造はしないでください。製品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。 ● 屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。 ● 製品と壁に固定した T⑥ネジ、T⑦アンカーは、根元まで確実に取り付けしたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい振動や揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、製品や◎転倒防止補助金具の設置位置を変えて、取り付けてください。ゆるんだまま使用すると、金具がはずれる事による過度の製品の揺れや、ゆがみが発生するだけでなく、転倒し製品の破損や思わぬケガをする原因となります。 ● 本体が破損した場合、直ちに使用を中止してください。破損したまま使用すると、ケガをするおそれがあります。

お願い (その他 注意)	
	● この製品 (ボックス・引出し・2 段) をユニットシェルフに取り付ける場合は、帆立・横棧の高さ 8 段目より上では使用しないでください。(7 段目まで使用できます。) ● この製品 (ボックス) を 2 段以上取り付ける場合は、下段から順に組み立ててください。上段から下段方向へは組み立てできません。 ● この製品は奥行 41 cm 専用です。奥行 25 cm タイプにはご使用いただけません。 ● 高温多湿な場所に長期間設置しないでください。カビやダニなどが発生し、健康を害することがあります。 ● 直射日光や冷暖房器具などの熱や風が製品に直接当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。 ● 平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。 ● 製品に直接熱い物や濡れた物を置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変色、カビなどの原因となります。 ● 突板や天然木の上にビニール製品 (塩化ビニル樹脂など) を直接、長期間置かないでください。変色や表面がはがれる原因となります。 ● 塗装やプラスチック部にアルコールを含む消毒剤などが垂れた場合にはすぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。

お願い（その他 注意）（つづき）

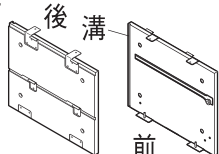
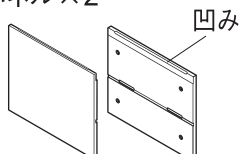
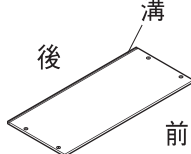
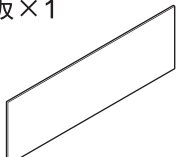
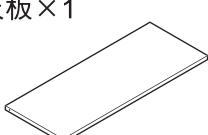
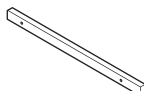
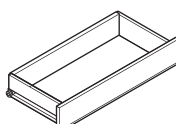
- シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
- 開封後の梱包材は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- 鉄でできたものを製品の上に直接置かないでください。製品が濡れていたりすると、鉄成分によって表面が黒く変色するおそれがあります。
- 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。
- 転倒防止補助金具は、家具の転倒を最小限にすることが本来の目的であり、収納物の破損や落下による事故を防止するものではありません。
- 転倒防止補助金具は、耐震用ではありません。地震などの振動や製品に寄りかかったりした場合、金具がはずれ、転倒するおそれがありますので、ご注意ください。必要に応じて、市販の転倒防止金具を用いるなど適切な処置を講じてください。

パーツリスト

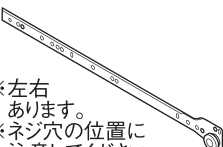
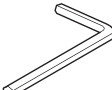
オーク材

ウォールナット材

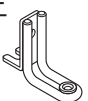
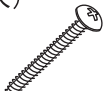
共通

①内側板×2  ※左右あります。 ※溝のあるほうが後側です。	②サイドパネル×2  ※左右共通。 ※凹みのあるほうが上面です。	③底板×1  ※上下あります。 ※溝のあるほうが後側です。	
④背板×1 	⑤天板×1  ※上下あります。	⑥コーナーパーツ×2  ※左右共通。	⑦引出し×2 

フィッティングパーツ

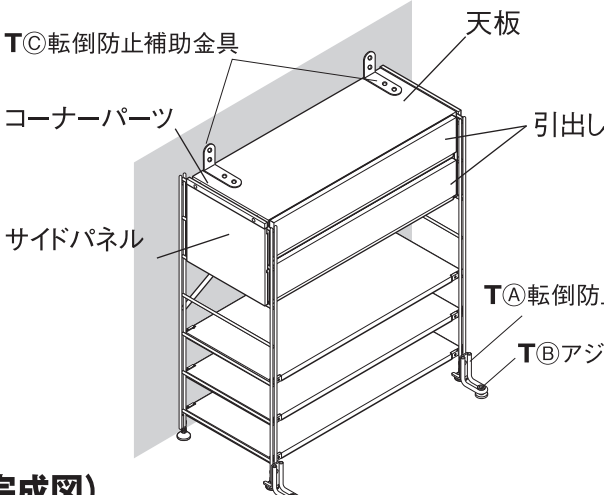
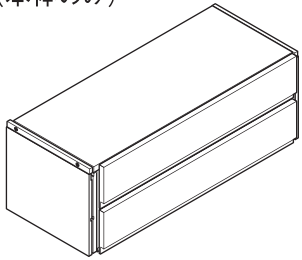
⑧ボルト・大×8  ※④ナットとセット組みされています。	⑨ボルト・中×4 (コーナーパーツ用) 	⑩ボルト・小×4 (天板用) 	⑪ナット×8  ※ボックス連結時4個、 ③底板を固定する際に4個使用します。	⑫ネジ×6 (レール用) 
⑬引出しレール×2  ※左右あります。 ※ネジ穴の位置に注意してください。	⑭スペーサー×2  ※クロスバーとボックスが緩衝する箇所にお使いください。	⑮突板シール×5  ※組立後、ボルト表面に貼ってください。	⑯六角レンチ×1 (4mm) 	⑰ドライバー×1 

転倒防止補助金具

T①転倒防止補助パーツ×2 	T②アジャスター×2  T①に取り付け済	T③転倒防止補助金具×2 	T④ボルト×2 	T⑤座金×2 
T⑥レンチ×1 	T⑦ネジ(小)×4 	T⑧ネジ(大)×4 	T⑨アンカー×4 	T⑩下穴用キリ×1 

各部の名称

図のサイズはワイド・中タイプです

ユニットシェルフに取り付けた状態  ユニツシェルフに取り付けた状態 T③転倒防止補助金具 コーナーパーツ サイドパネル 天板 引出し T①転倒防止補助パーツ T②アジャスター (完成図)	(本体のみ)  ※この組み合わせはボックス・引出し・2段と帆立(2本)と棚板パーツ(3枚)を使用した組み合わせで作成されています。 ※帆立と棚板パーツは別売りです。
--	--



注意

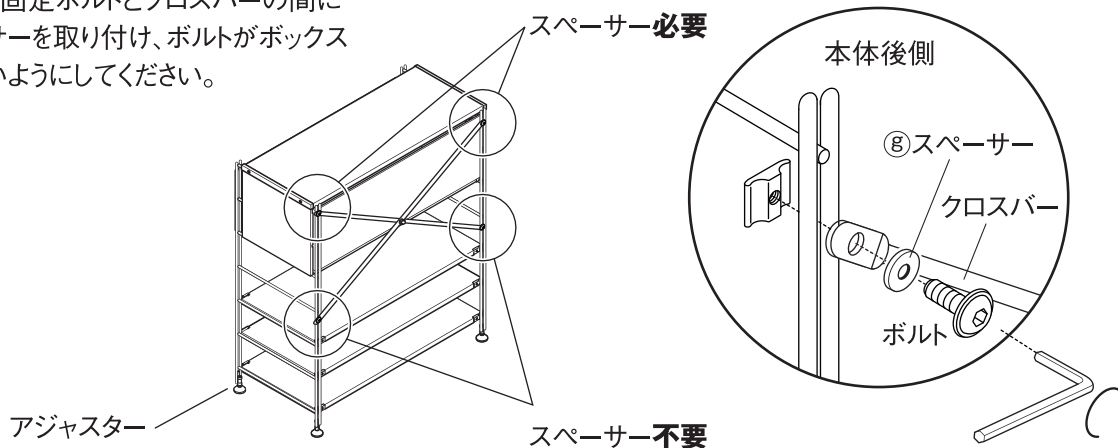
- ❶ 組み立ては、大人2人以上で行ってください。1人で作業すると、転倒や破損、床をキズつける、ケガの原因となります。
- ❷ 組み立てには電動工具は使用しないでください。無理な負荷がかかると、製品破損によりケガをするおそれがあります。
- ❸ 組み立て時は、組み立てに必要なスペースを十分に確保し、敷物を敷いてください。床や既存の家具のキズ防止になります。

組み立ての前にご準備ください

- ❶ ボックスの設置高さを、スチールユニットシェルフ・ボックス組合わせ一覧表を参照の上、お決めください。
(高さ制限があります。)
- ❷ 既にお使いのスチールユニットシェルフにボックスを設置されていて、下記に該当する場合、事前にそれぞれご準備ください。

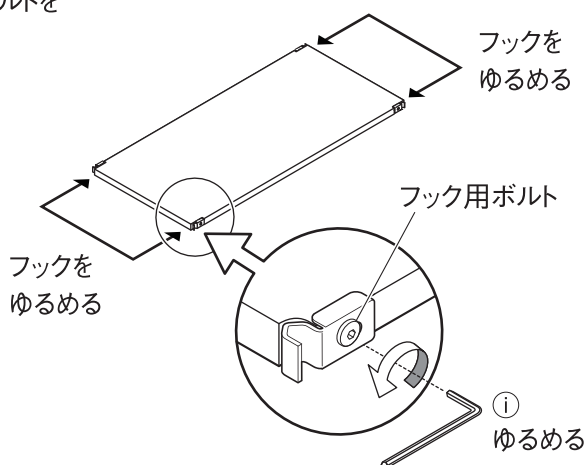
ボックスとクロスバーの固定箇所が重なる場合

クロスバー固定ボルトとクロスバーの間に
⑧スペーサーを取り付け、ボルトがボックス
に触れないようにしてください。



ボックスを取り付ける箇所に棚板がある場合

棚板の四隅に固定されているフックのボルトを
それぞれ、❶六角レンチを使ってゆるめて
棚板はずしてください。



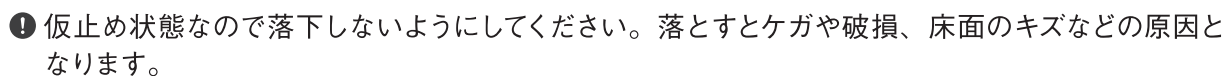
- ❸ 帆立の脚先にあるアジャスターで水平調整をし、本体にゆがみがないようにしてください。

オーク材 ウォールナット材 共通

ウォールナット材

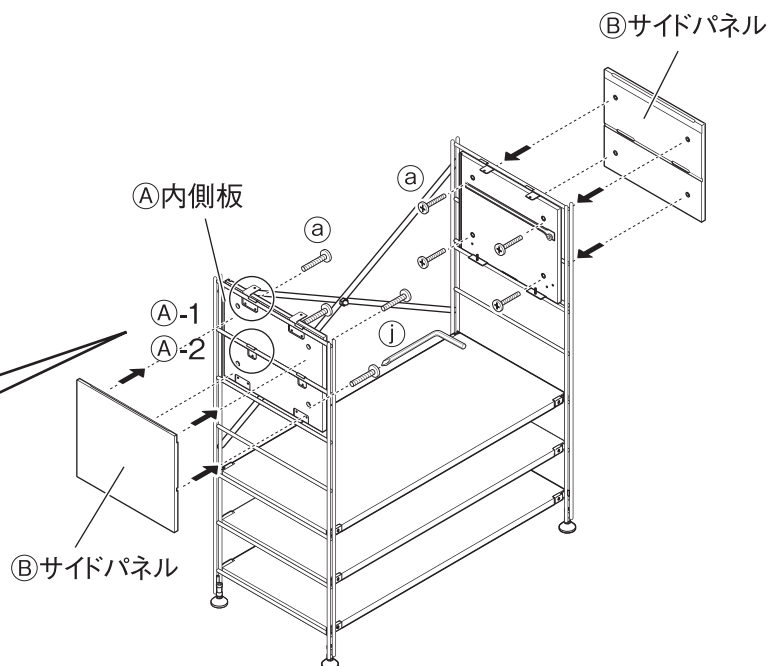
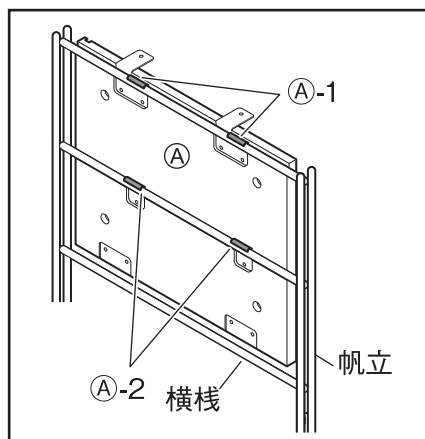
共通

① ④内側板の向きを合わせ、設置したい帆立の横棧に④-1、④-2 の金具を引っかけます。



② ③サイドパネルと ④内側板で帆立を挟み込みながら⑤ボルト・大を⑥ドライバーで締め付けてください。

※溝のあるほうを
後側にします。

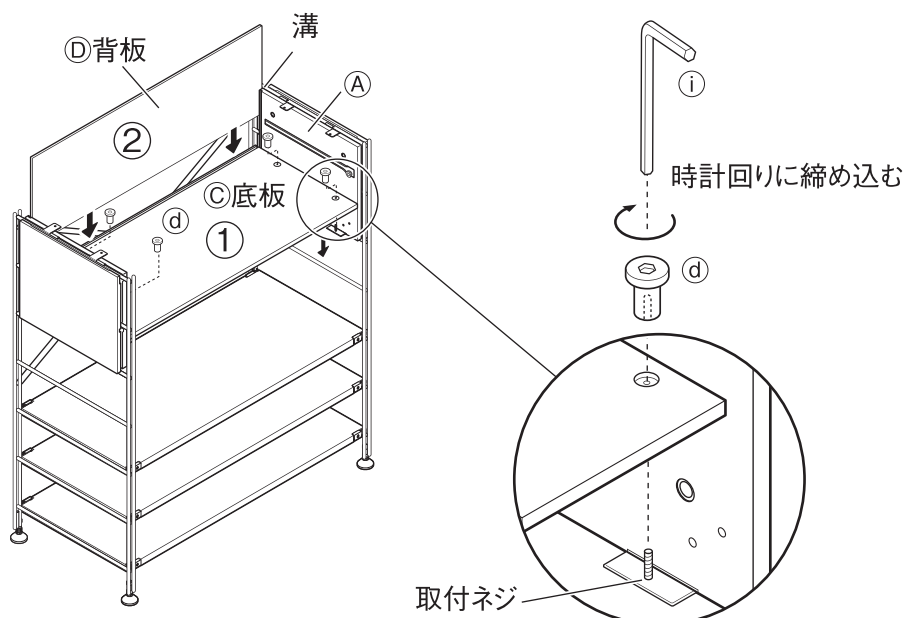


ボックスを2段以上組む場合は、下段から順に組み立ててください。
上段から下段方向へは組み立てできません。

① ③底板を上方向から④内側板の取付ネジに合うようにしてはめ込み、底板穴部に④ナットで締めます。

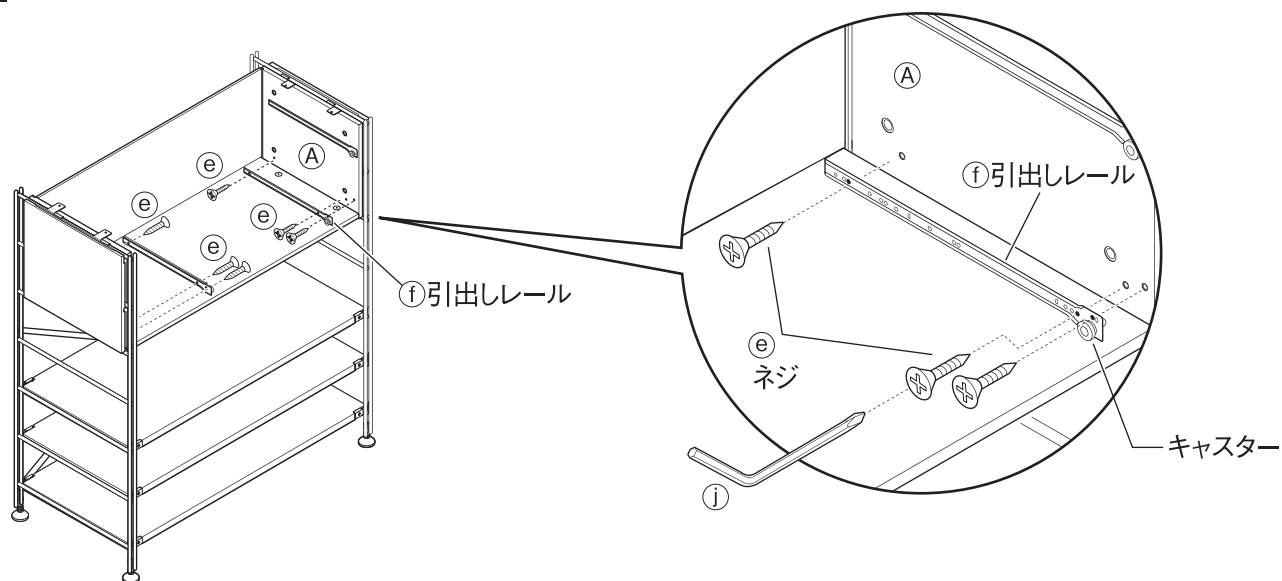
② ④背板を、①内側板の後方の溝に合わせて、差し込みます。

※背板が入りにくい場合、ユニットシェルフのクロスバーや◎底板のナットをゆるめると入りやすくなります。

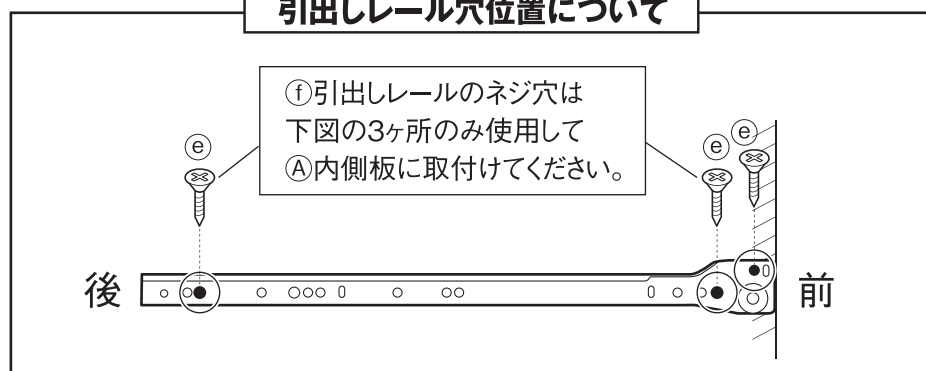


3

①引出しレールを④内側板の下部に⑤ネジで①ドライバーを使って取り付けます。
※下図 引出しレール穴位置に合わせ取り付けてください。

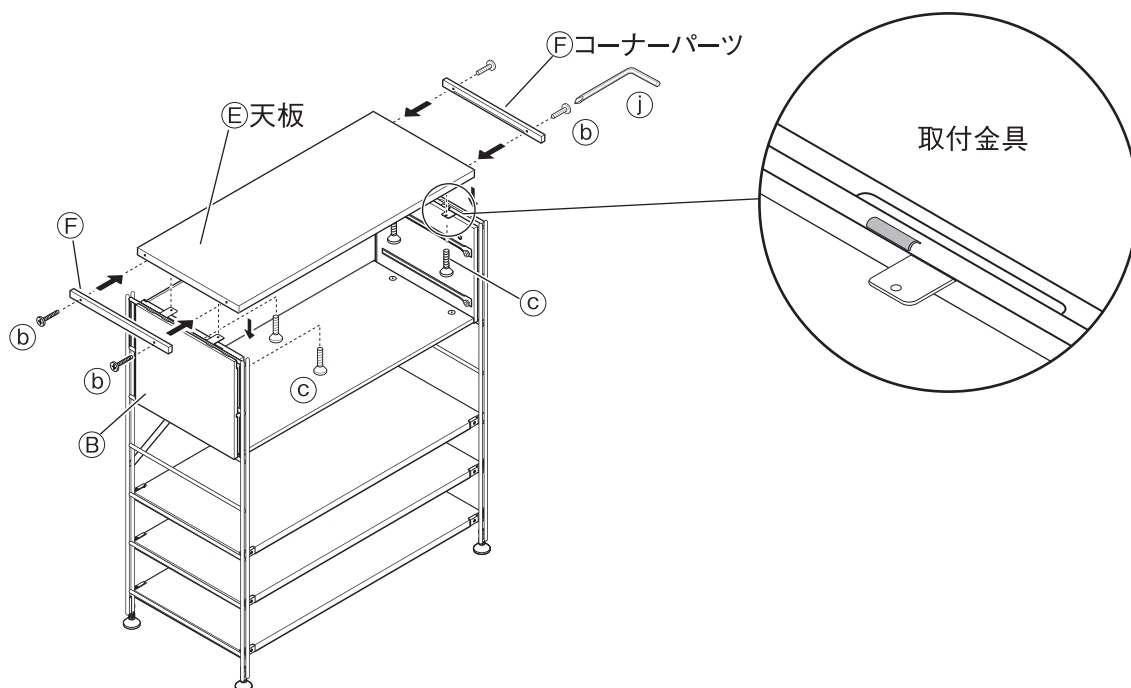


引出しレール穴位置について



4

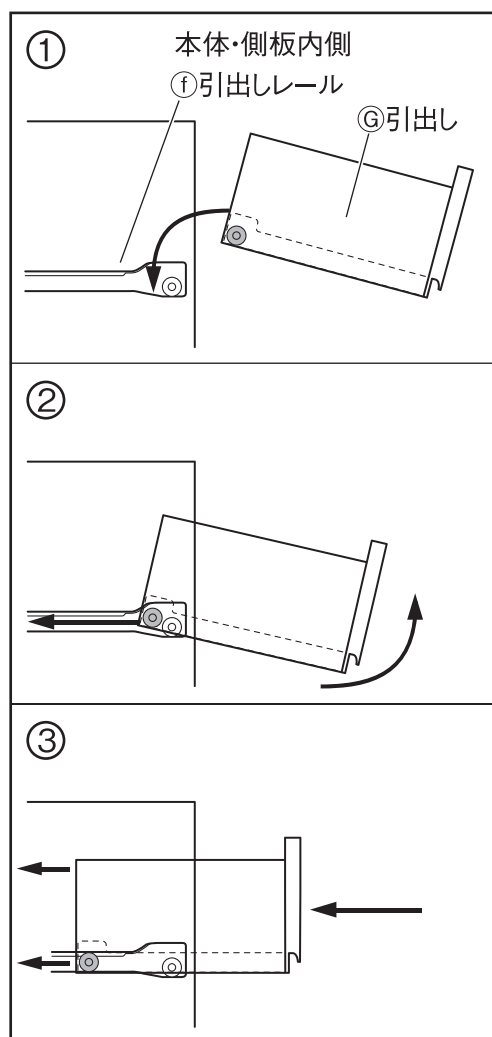
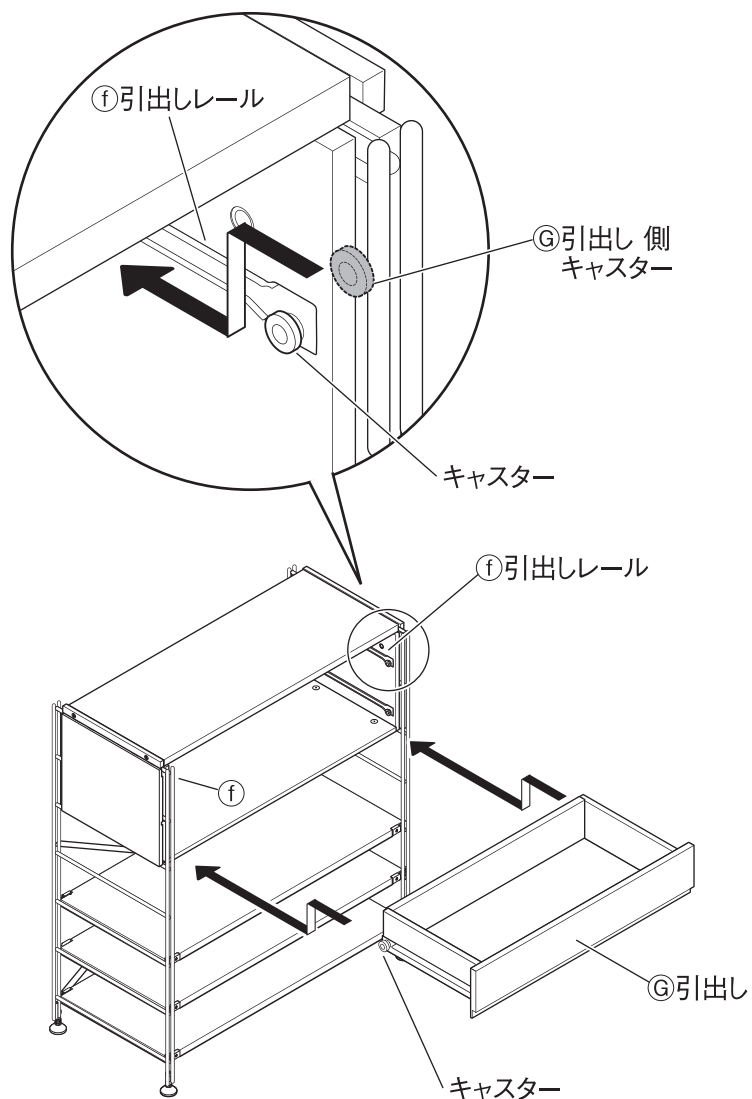
本体に⑤天板を取り付けます。※ボルト穴があるほうが下側です。
④内側板上面の取付金具に合わせ、下から③ボルト・小で締め込み固定します。その後、天板と内側板の合わせ目に
⑤コーナーパーツの平らな面を上にして天板に合わせ、③ボルト・中で締めます。



組立方法 (つづき)

5

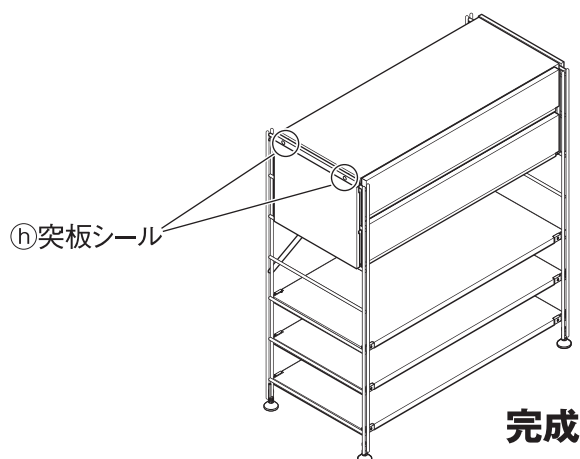
下図のように、①引出しレールのキャスターと引出し側のキャスターを合わせて、②引出しを入れてください。奥までしっかり入れてください。



6

組み立て後、ボックスの各棚の間に、隙間等がないか確認し、ゆるみや隙間がある場合は、位置を調整の上、しっかり締めてください。(手順 2 でクロスバーをゆるめた場合、しっかり締め直してください。)

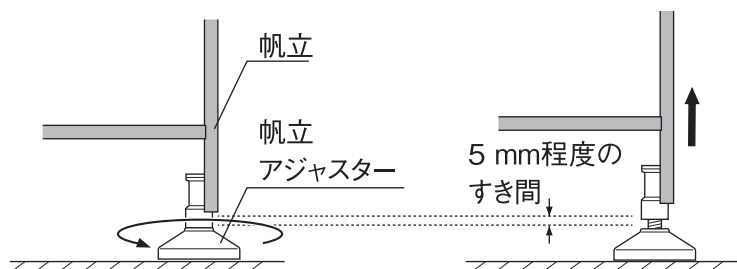
④突板シールをボルト表面に貼ってください。



組立方法（つづき）

転倒防止補助パーツの取り付け方（足もと）

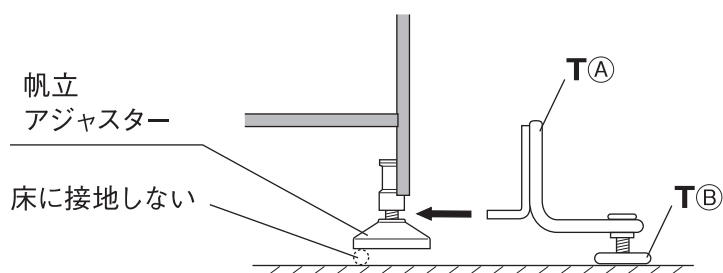
- 1** お使いのユニットシェルフのアジャスターを回転させ、アジャスターと帆立の間に5 mm程度のすき間を開けます。



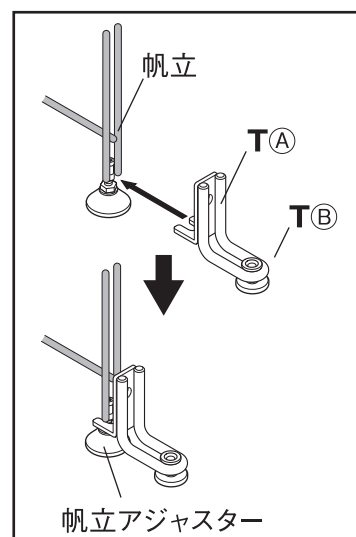
※お使いのシェルフに収納しているものがあれば、シェルフから取り除いてください。
落下のおそれがあります。

- 2** 帆立アジャスターに**T①**転倒防止補助パーツを取り付けます。

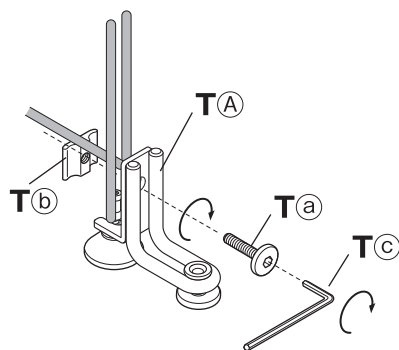
5 mm程度のすき間をあけた部分に**T①**転倒防止補助パーツを差し込み、帆立のアジャスターではさみ込みます。



その際、帆立のアジャスターが床に接地しないよう、**T②**アジャスターで調整します。



- 3** **T①**、**T②**で**T①**転倒防止補助パーツと帆立をはさみ込みながら、**T③**を使ってしっかりと取り付けます。



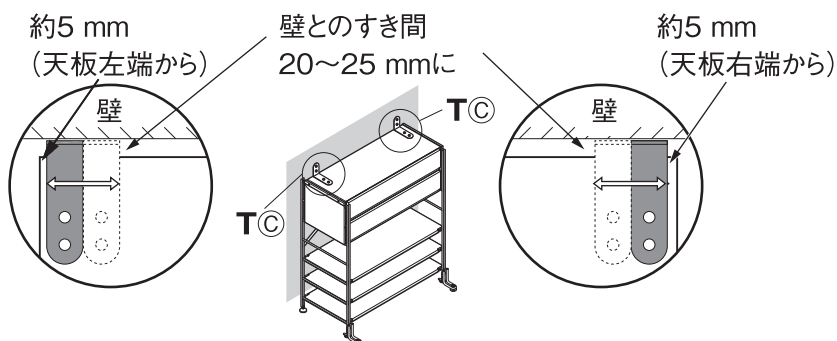
組立方法（つづき）

転倒防止補助金具（上部）の取り付け方

取り付ける際は、お手持ちのプラスドライバー、キリなどをご用意ください。

1 T^㉔転倒防止補助金具を本体に取り付けます。

- ① 本体を壁の前に配置し、本組立説明書p20下部にあるT^㉔転倒防止補助金具取付ガイドを使ってT^㉔転倒防止補助金具を天板の左右端から約5 mm内側に配置してください。

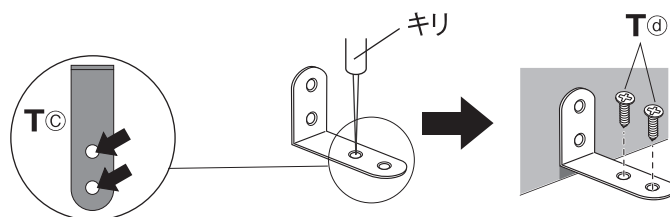


※本体と壁とのすき間は20～25 mmとなるようにしてください。

※天板端から5 mm離して取り付けてください。

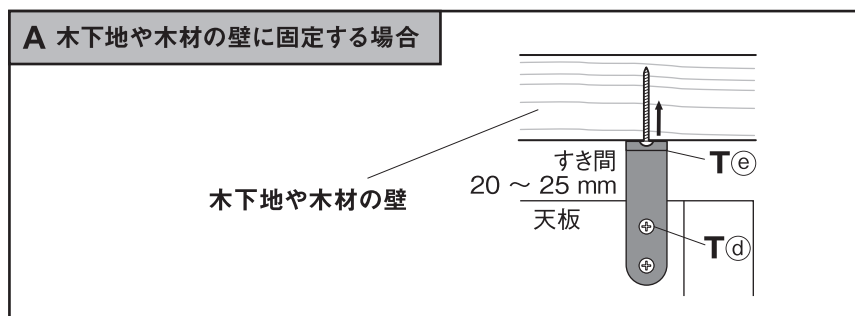
5 mm未満内側に取り付けると芯材がないためT^㉔ネジが空回りし固定できません。

- ② T^㉔転倒防止補助金具をT^㉔を使って、本体に取り付けてください。
矢印の2か所に、キリなどで下穴をあけてから、T^㉔をプラスドライバーで取り付けてください。

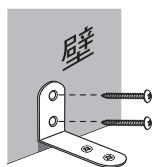
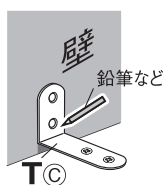


2 壁の材質を確認の上、A～C いずれかの方法で壁に取り付けてください。

A 木下地や木材の壁に固定する場合



- ① 壁にT^㉔転倒防止補助金具を合わせ、取付穴の印を付けます。
- ② 壁にT^㉔で固定します。

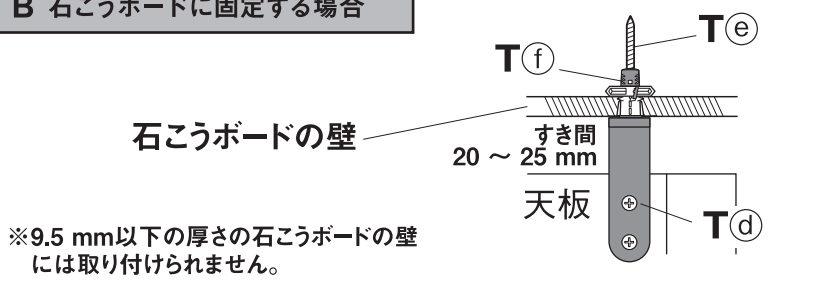


※壁が固くT^㉔を固定しづらい場合は、ドリルを使い、直径2 mmの下穴をあけると固定しやすくなります。

組立方法 (つづき)

転倒防止補助金具(上部)の取り付け方 (つづき)

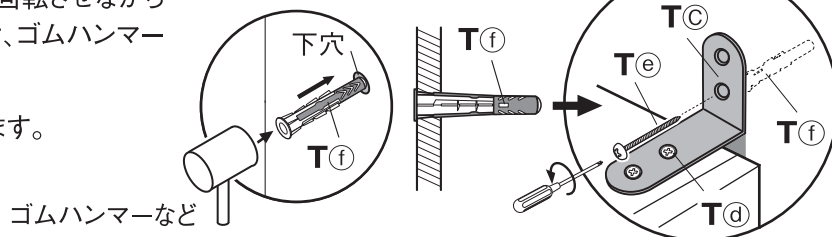
B 石こうボードに固定する場合



- ① 壁に**T(c)**転倒防止補助金具を合わせ、取付穴の印を付けます。



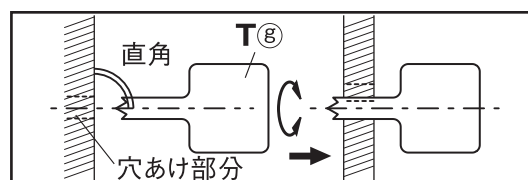
- ② 印を付けた部分に**T(g)**を使い、左右に回転させながら石こうボードが貫通するまで下穴を開け、ゴムハンマーなどで**T(f)**を差し込みます。
- ③ 差し込んだ**T(f)**に**T(e)**で壁に取り付けます。



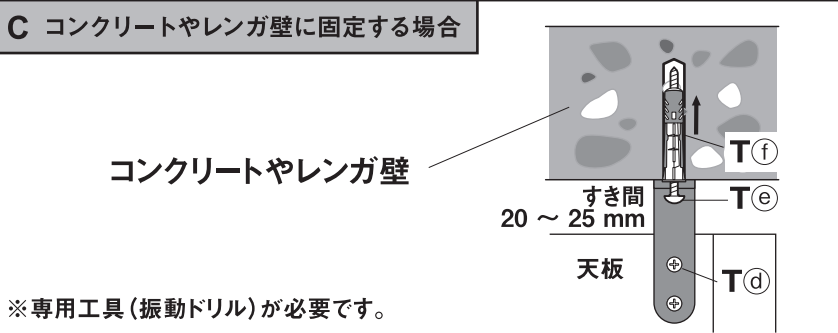
●下穴用キリの使いかた



- ❶ 壁面に対して直角に下穴を開けてください。斜めになると下穴が大きくなり、**T(f)**アンカーが正しく取り付けできないおそれがあります。



C コンクリートやレンガ壁に固定する場合



- ① **B** 同様に印を付けた部分に専用工具(振動ドリル)を使用して直径6 mmの下穴を開けます。(深さは50 mmを目安にしてください)。
- ② **B** 同様に下穴に**T(f)**を差し込みます。
- ③ 差し込んだ**T(f)**に**T(e)**で壁に取り付けます。



- ❶ 電動工具などをご使用の場合は、低速回転でゆっくりネジを締めこんでください。
 ❷ 厚み150 mm未満のコンクリート壁には使用しないでください。
 ❸ **T(f)**アンカーを差し込む際はハンマーなどで軽くたたいて、最後まで打ち込んでください。
 ❹ **T(e)**ネジ(大)の頭が**T(c)**転倒防止補助にすき間なく接して抵抗が大きくなってから1~2回転させてください。

3

同じ方法で、反対側にも同様に**T(c)**転倒防止補助金具を取り付けてください。

4

最後にネジや壁の固定にゆりがないかを確認してください。



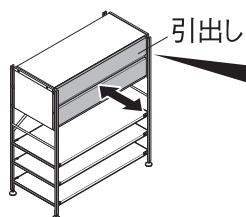
- ❶ これから組み立てるユニットシェルフ本体に転倒防止補助パーツセットを取り付ける場合は、本体の組み立てが完成してから、取り付けてください。
- ❷ 引出しが複数ある場合、同時に開けないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- ❸ 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、製品ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
- ❹ 取り付け後、製品が水平になっているか確認してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。



ご使用方法

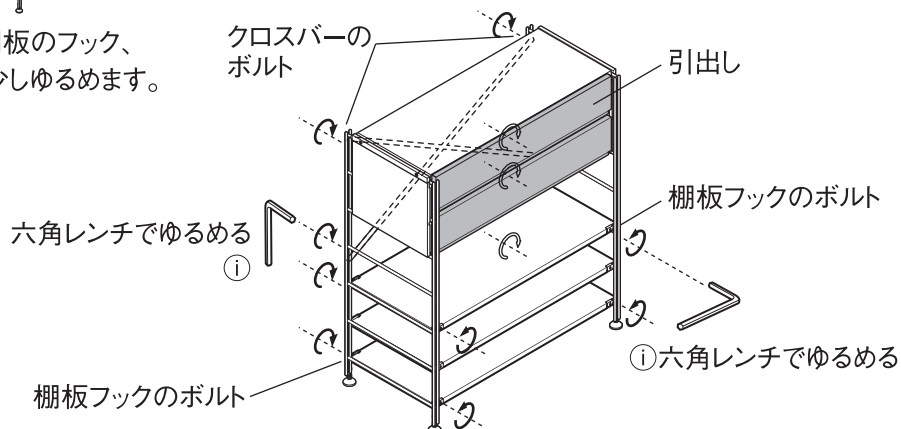
引出しの調整方法(きつい場合)

引出しの開閉がきつい場合は、
つぎの手順で調整を行ってください。

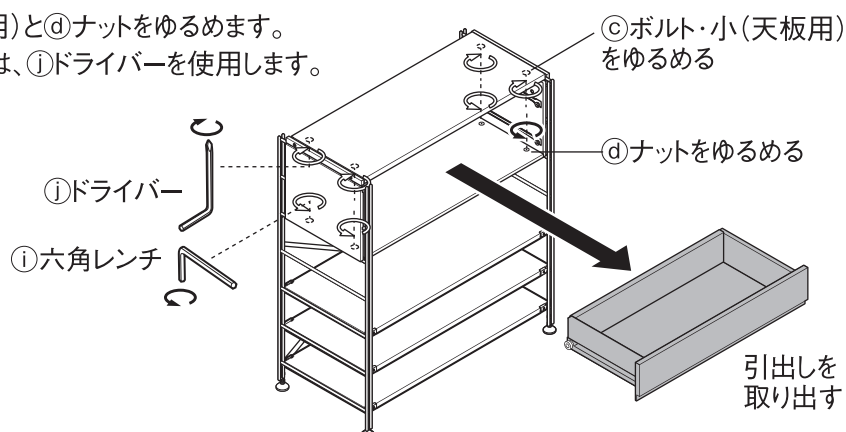


**きつい場合
調整します**

- 1** 上部から順番に、クロスバーと棚板のフック、
全てのボルトを①六角レンチで少しゆるめます。



- 2** 引出しを取り出し、㉔ボルト・小(天板用)と㉔ナットをゆるめます。
※㉔ボルト・小(天板用)をゆるめるには、①ドライバーを使用します。



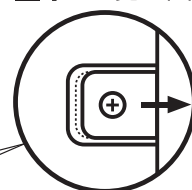
- 3** 帆立を外側にひろげ、ボックス内側板の金具位置と棚板のフック位置を
下図のように外側にくるように調整してください。

手順 **1** で取りはずした引出しを再び本体に入れ、引出しの開閉が
きつくないことを確認してください。

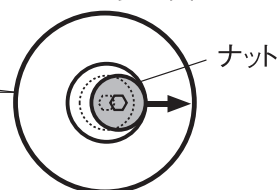
その後、手順 **1 2** でゆるめた全ての金具を締め直してください。

帆立を外側に
ひろげる

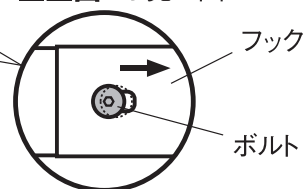
■下から見た図



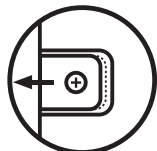
■上から見た図



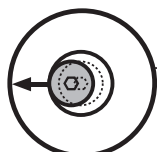
■正面から見た図



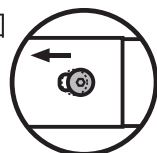
■下から見た図



■上から見た図



■正面から見た図



帆立を
外側にひろげる

ご使用方法 (つづき)

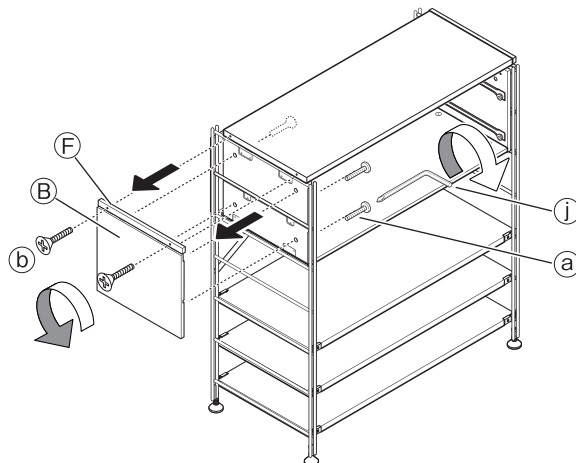
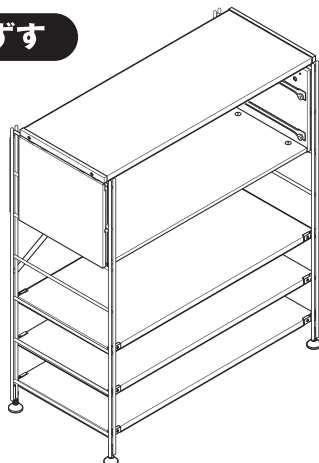
ボックス連結のしかた

- 1** 横にボックスを取り付ける場合、取り付ける側の⑧サイドパネル、⑨コーナーパーツをとめている⑥ボルト・中、⑦ボルト・大を⑪ドライバーで取りはずします。

※取りはずしたサイドパネル、コーナーパーツは使用しません。なくさないように保管してください。

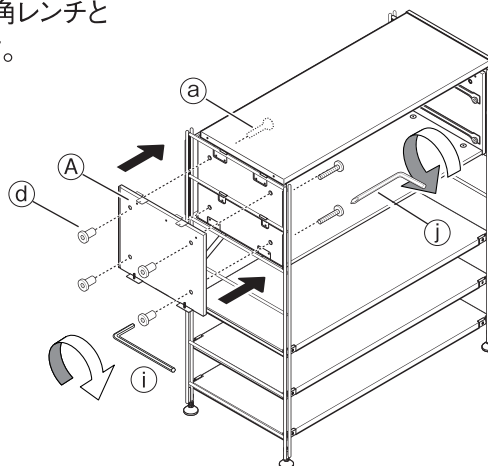
※クロスバーを既に取り付け済みの場合は、クロスバーは取りはずさないでください。ボックスを組み立てた後に取り付けることはできません。

取りはずす

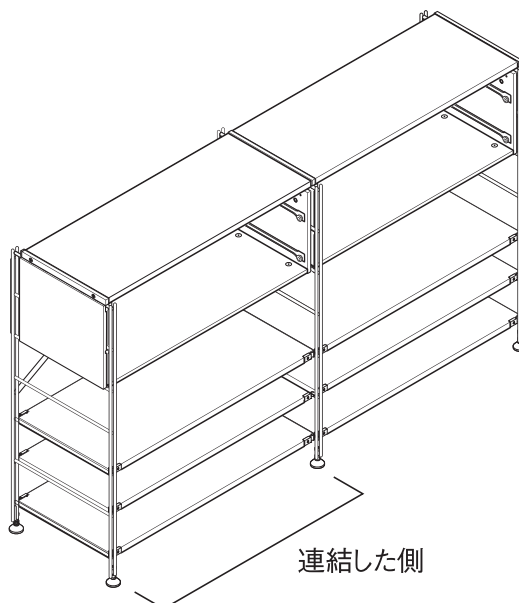


- 2** 連結するボックスの⑩内側板を横のボックスに、⑪六角レンチと⑪ドライバーを使い⑦ボルト・大と④ナットで固定します。

取り付ける



- 3** 本体の組立手順どおり、ボックス、棚板、帆立を取り付けて完成です。

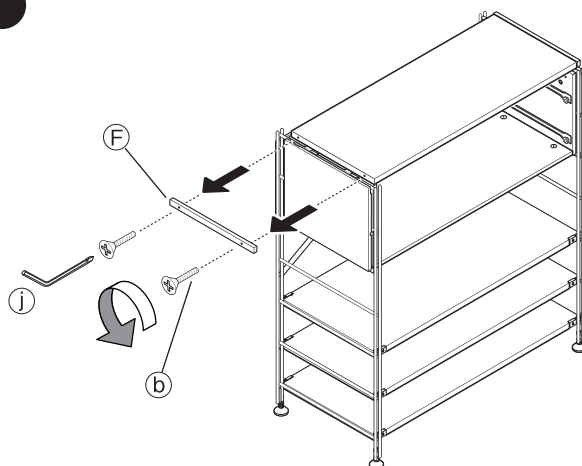


ご使用方法 (つづき)

棚板連結のしかた

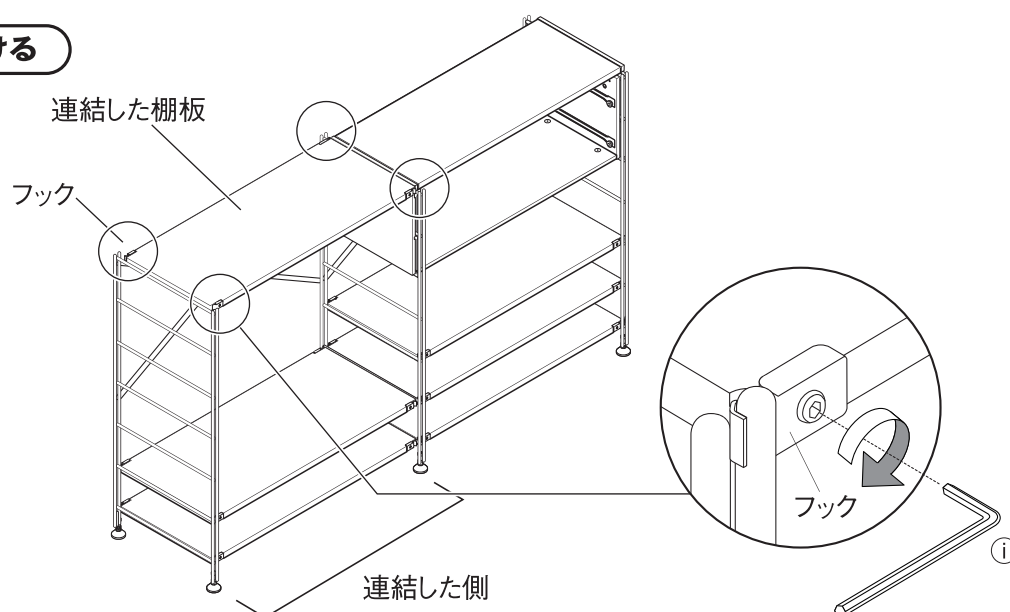
- 1** 棚板を連結する側の⑥コーナーパーツをとめている⑥ボルト・中を①ドライバーではずします。
※取り外したコーナーパーツは使用しません。なくさないように保管してください。

取りはずす



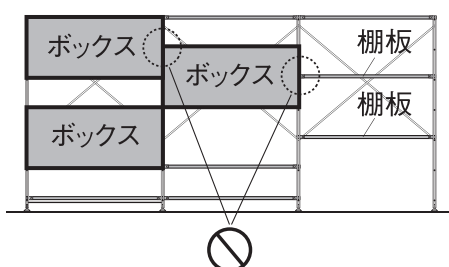
- 2** 連結する棚板のフック部を、①六角レンチで帆立に取り付けてください。
棚板、帆立、クロスバーを取り付けて完成です。

取り付ける

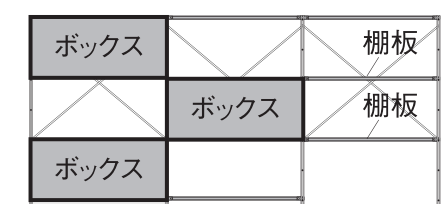


ボックス・棚板の取付位置

-  ボックス・棚板は斜めにずれた位置には取り付けられません。



-  ボックスと棚板が水平に隣合う位置に設定してください。

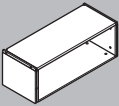
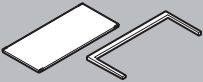
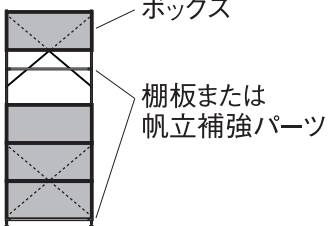
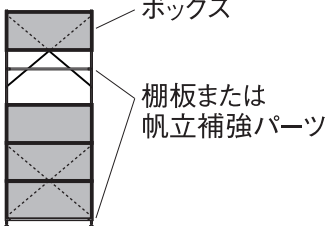
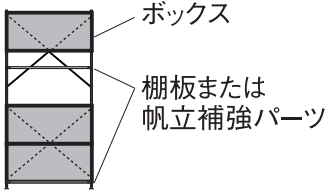
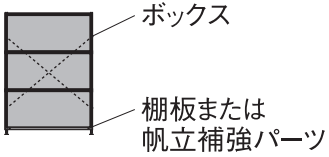
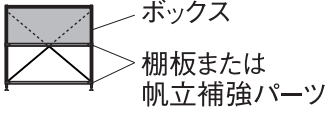
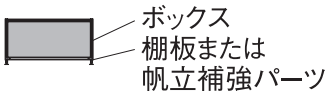


注意

ご使用方法（つづき）

スチールユニットシェルフ・ボックス・組合わせ一覧表

ユニットシェルフでは、一定の強度を保つために、組み立てに必要なパーツ数を定めています。
サイズごとに必要な数が違いますので、下の表でお確かめください。

帆立 サイズ	ボックス数 	棚板または 帆立補強パーツ数 (最低数量)※1 	クロスバー数 	全体 耐荷重目安 (kg) ※2	組合わせ例 	取り付け上の 注意
特大	4	2	2	80		※ボックス5個は 取り付け られません。
	3	3				
	2	3		90		
	1	4				
大	3	2	2	80		※ボックス4個は 取り付け られません。
	2	2		90		
	1	3				
中	3	1	1	55		
	2	2		65		
	1	3				
小	2	1	1	40		
	1	2				
ミニ	1	1	0	25		

※1 棚板と帆立補強パーツの併用は可能です。併用する場合は、合計数量が上記の数量になるように取り付けてください。

※2 ボックスの取り付け個数に応じて全体耐荷重の目安は変わります。また、総重量も考慮の上、設置場所に注意し、ご使用ください。

※引出しを取り付ける場合は、帆立・横棧の下から7段目の高さ(中サイズの高さ)までです。

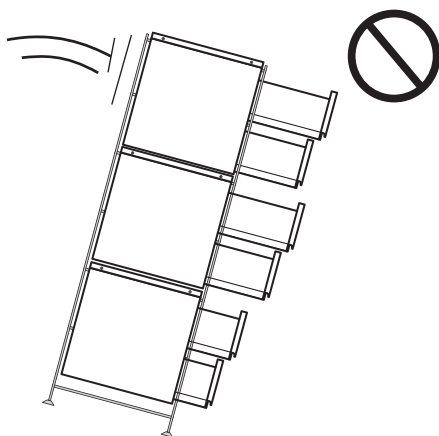


注意

- 組み立て位置によっても強度は異なります。最低数量以上でも、一部に片寄っていると強度に影響する場合があります。設置の際は均等になるようにご注意ください。
- 高い位置にボックス本体を取り付ける場合は、不安定になりやすいため、市販の転倒防止製品と合わせてご使用ください。(目安:高さ100 cm以上)

ご使用方法（つづき）

複数の引出しを同時に開けないでください。
転倒し、ケガをするおそれがあります。

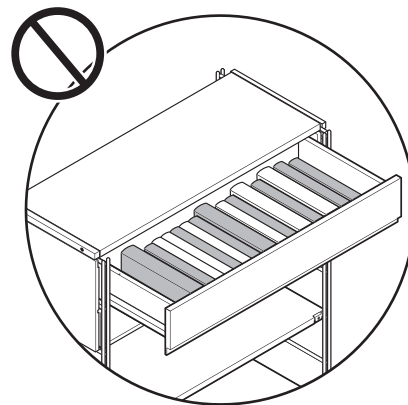


⚠
注意
🚫
禁止

※転倒のおそれがありますので、引出しを
無理な力で取り扱わないでください。
また、上部だけに収納しないでください。

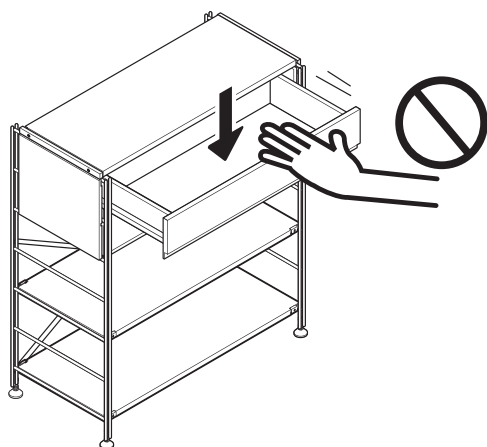
引出しには、本などの重量物をいっぱいに入れないでください。転倒や破損により、
ケガのおそれがあります。

耐荷重:5 kg



⚠
注意
🚫
禁止

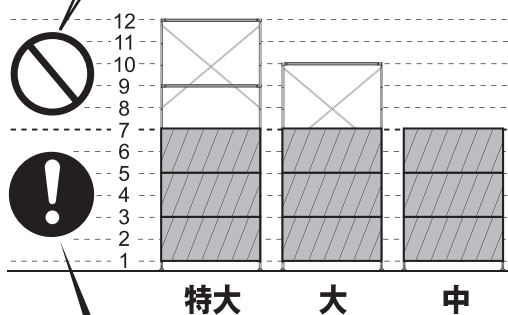
引出しに手をついたり、無理な負担を
かけないでください。転倒や破損により、
ケガをするおそれがあります。
特に小さなお子さまはご注意ください。



⚠
注意
🚫
禁止

引出し・2段を取りつける場合は、
帆立・横棧の高さ8段目より上では
使用しないでください。
(7段目まで使用できます)

帆立・横棧 8段目以上 引出し使用不可



お願い
(その他注意)

帆立・横棧 7段目まで 引出し使用可

⚠
注意

- ボルトなどでフィッティングパーツのゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみははじめたら締め直してください。
そのまま使用すると破損、ケガの原因となります。

注意

- 直射日光、暖房等の熱風、高温多湿での使用は変形、変色、変質の原因となることがありますので、ご注意ください。
- 引出しを勢いよく開閉するなどで無理な負担をかけると、破損や変形の原因となりますので、ご注意ください。

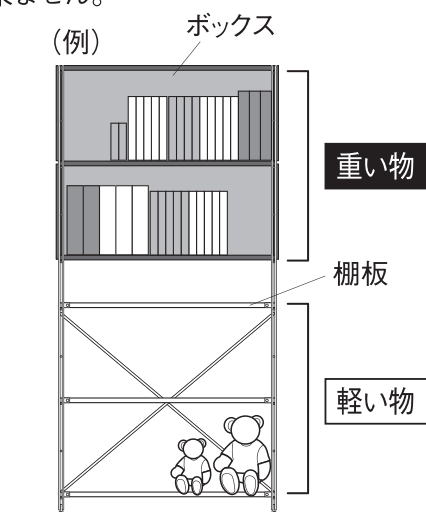
ご使用方法（つづき）

設置の際のご注意

- 製品の上部のみに片寄って収納しないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 引出しを取り付ける場合は、帆立の横棧、下から7段目の高さまで可能です。下から8段目以上（中サイズより上の位置）に取り付けることは出来ません。



不安定になりやすい使い方



移動について

- 引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。途中でパーツがはずれると、破損、ケガをするおそれがあります。
- 壁にアンカーを使用した場合は、取りはずせません。無理やり取りはずした場合、壁に6 mm以上の穴が開いた状態になります。ご了承ください。また、この製品はネジを使って天板に取り付けますので、取りはずした後は天板にも穴が開いた状態になります。あらかじめご了承ください。

廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

- 破損や変形した状態では使用しないでください。
- 金具類にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

ご使用に際して（つづき）

天然木について

- 本製品は天然木（突板）を使用しているため、製品ごとに天然木材特有の個体差（木目や色合いなど）がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木（突板）は下記の条件により、割れや反りなどが発生することがありますので、ご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ・冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限り避け、必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてください。
 - ・特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因となります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気について



注意

❗ 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。特に複数の家具を同時に設置した場合は、窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客さまへ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質の許容量には個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談されることをおすすめします。
- ホルムアルデヒド吸着・分解シートについて
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまで少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、無印良品の家具には、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを同梱しています。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

製品仕様

品 名	スチールユニットシェルフ用 ボックス 引出し2段 オーク材突板	スチールユニットシェルフ用 ボックス 引出し2段 ウォールナット材突板
J A N	4547315187539	4547315187522
製 品 寸 法	幅845×奥行400×高さ370 mm 引出内寸：幅735×奥行320×高さ105 mm	
製 品 重 量	約24 kg	
耐 荷 重	天板：約15 kg / 引出し：各約5 kg	
材 質	[表面材] 天板・サイドパネル・引出し前板・底板： 外 側 天然木化粧MDF(オーク材突板) 内 側 プリント紙化粧合板 内側板 プリント紙化粧合板 [構造材] 天板：MDF (フラッシュ構造) サイドパネル・引出し前板：MDF 底板：合板 [表面加工] 天板・底板・サイドパネル：アクリル樹脂塗装 引出し前板：ウレタン樹脂塗装	[表面材] 天板・サイドパネル・引出し前板・底板： 外 側 天然木化粧MDF(ウォールナット材突板) 内 側 プリント紙化粧合板 内側板 プリント紙化粧合板 [構造材] 天板：MDF (フラッシュ構造) サイドパネル・引出し前板：MDF 底板：合板 [表面加工] 天板・底板・サイドパネル：アクリル樹脂塗装 引出し前板：ウレタン樹脂塗装
材 質 (転倒防止補助パーツ)	T(A)、T(C) 金属(銅) T(B) ポリプロピレン、金属(銅) T(a)、T(d)、T(g) 金属(ステンレス鋼) T(b) アルミニウム T(c)、T(e) 金属(銅) T(f) ナイロン樹脂 表面加工 T(A)、T(C) めっき(ニッケル) T(B)、T(c)、T(e) めっき(亜鉛)	

Made in Taiwan

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ
0120-14-6404

T(C)転倒防止補助金具取付ガイド

